

秋季
県高校野球

第3日

野辺西 5回崩れ6失点

【評】青森商は四回、宮本のスクイズで先制すると、続く五回には蝦名の二塁打を皮切りに、打

者一巡の猛攻。連打に小技をからめて敵失を誘うなど機動力も生かして、一挙6得点で突き放した。今大会3戦連続の先発となった佐々木は7回を被安打4で完封し、攻守ともに隙を与えなかった。

野辺地西は、先発樋口が四回まで失点1と力投を見せたが、打線の援護がないまま五回に崩れた。

「4強へ」選手に力み
○：「4強が懸かっていたせいか、（選手たちが）力んでいた」。試合後、野辺地西の太田監督

は敗因について語った。先発樋口は四回まで1失点に抑えるなど、立ち上がりは悪くなかった。それでも緊張感が拭えなかつたのか、当の本人は

「気持ちが高ぶり、いつも通りの打球ができなかった。五回には、打者一巡のビッグイニングを相手に与えてしまった。直球を狙われて打ち込まれただけに、樋口は「配球を工夫し、自分から捕手としっかりコミュニケーションを取っていきたい」と気持ちを新たにしました。